

一般会計予算概要

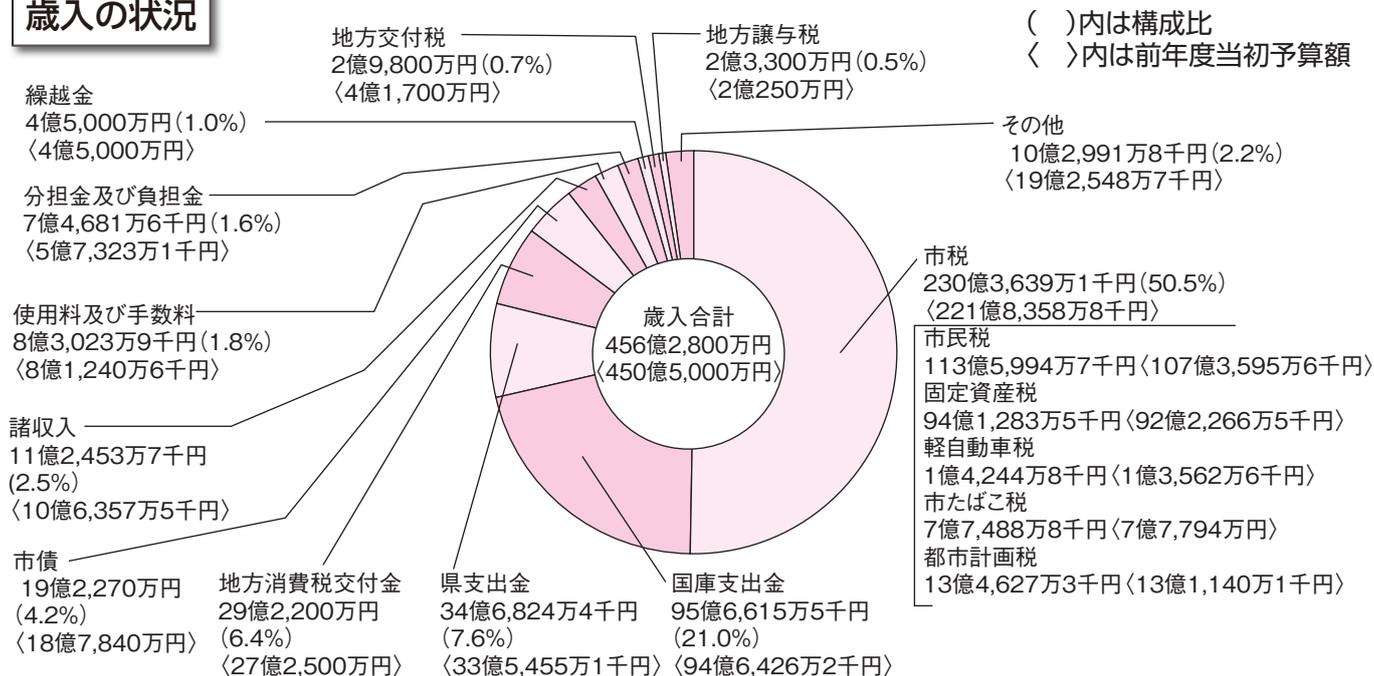
対前年度比
1.3%増

令和4年度(2022年度)の予算が、令和4年第1回市議会定例会の最終日に可決されました。
ここでは、新年度予算の内容についてお知らせします。

一般会計予算の総額は456億2,800万円で、前年度当初予算額450億5,000万円に対して、1.3%(5億7,800万円)の増となっています。

これを歳出予算について前年度と比較してみると、土木費が排水機場のポンプ増設や内間木橋の撤去工事などにより19.5%(4億9,675万7千円)の増、民生費が障害福祉サービスに係る負担金や生活保護費の増などにより1.6%(3億9,023万円)の増となる一方で、教育費が図書館施設改修事業の完了などにより5.9%(2億8,270万6千円)の減となっています。

歳入の状況



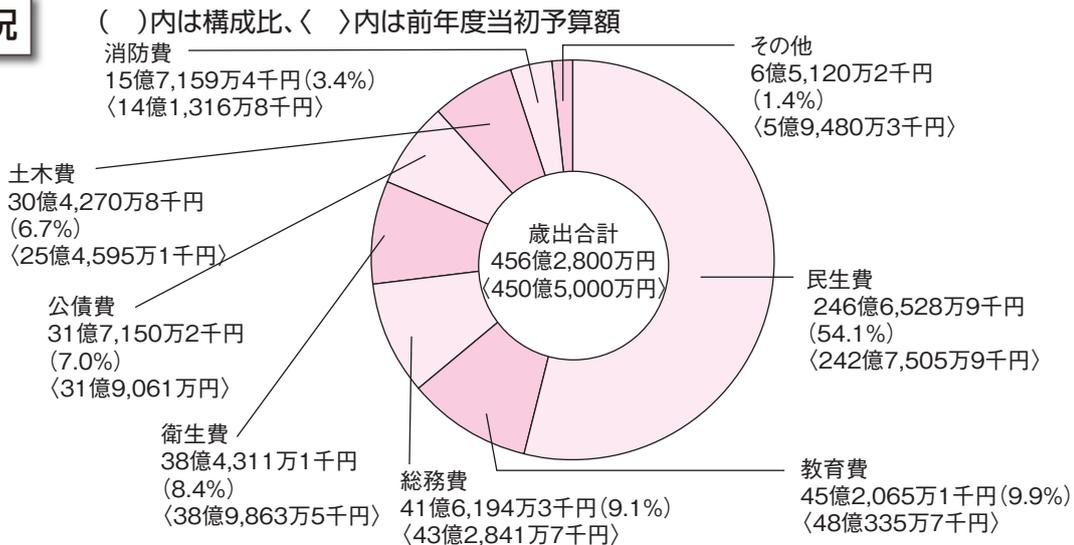
歳入

区分	予 算 額	構成比 (%)	増減率 (%)
市 税	230億3,639万1千円	50.5	3.8
地 方 譲 与 税	2億3,300万円	0.5	15.1
利 子 割 交 付 金	1,400万円	0.0	16.7
配 当 割 交 付 金	1億600万円	0.2	1.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1億2,200万円	0.3	71.8
法 人 事 業 税 交 付 金	1億8,700万円	0.4	266.7
地 方 消 費 税 交 付 金	29億2,200万円	6.4	7.2
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,200万円	0.0	50.0
環 境 性 能 割 交 付 金	4,400万円	0.1	57.1
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	1億2,100万円	0.3	9.0
地 方 特 例 交 付 金	1億8,300万円	0.4	△ 3.7
地 方 交 付 税	2億9,800万円	0.7	△ 28.5
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,322万4千円	0.0	△ 0.2
分 担 金 及 び 負 担 金	7億4,681万6千円	1.6	30.3
使 用 料 及 び 手 数 料	8億3,023万9千円	1.8	2.2
国 庫 支 出 金	95億6,615万5千円	21.0	1.1
県 支 出 金	34億6,824万4千円	7.6	3.4
財 産 収 入	1億4,316万5千円	0.3	△ 12.2
寄 附 金	700万円	0.0	699,900.0
繰 入 金	7,752万9千円	0.2	△ 93.4
繰 越 金	4億5,000万円	1.0	0.0
諸 収 入	11億2,453万7千円	2.5	5.7
市 債	19億2,270万円	4.2	2.4
合 計	456億2,800万円	100.0	1.3

※パーセント表記のものについては、小数点以下第2位を四捨五入しています。

一般会計予算概要

歳出の状況



歳出

款	区分	予算額	構成比 (%)	増減率 (%)
議会費		2億8,548万円	0.6	0.3
総務費		41億6,194万3千円	9.1	△ 3.8
民生費		246億6,528万9千円	54.1	1.6
衛生費		38億4,311万1千円	8.4	△ 1.4
労働費		173万8千円	0.0	0.6
農林水産業費		7,227万9千円	0.2	6.4
商工費		2億3,569万7千円	0.5	27.8
土木費		30億4,270万8千円	6.7	19.5
消防費		15億7,159万4千円	3.4	11.2
教育費		45億2,065万1千円	9.9	△ 5.9
公債費		31億7,150万2千円	7.0	△ 0.6
諸支出金		600万8千円	0.0	0.1
予備費		5,000万円	0.1	0.0
合計		456億2,800万円	100.0	1.3

議会費…議会の活動のための経費です。
 総務費…徴税・戸籍・選挙・統計などのための経費です。
 民生費…福祉や保育など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するための経費です。
 衛生費…公害対策やごみ処理など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費です。
 労働費…労働者を支援する各種事業のための経費です。
 農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費です。
 商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興などのための経費です。
 土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画などのための経費です。
 消防費…埼玉県南西部消防局の運営や消防団の活動などのための経費です。
 教育費…学校・博物館・公民館・図書館などの施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うための経費です。
 公債費…市が借り入れた市債(借金)の元金、利子の償還(返済)費です。

市民1人当たりに使われる市のお金

総額 **31万7,777円**

今年度、朝霞市の一般会計予算は、456億2,800万円ですから、これを市民1人当たりを使うお金の換算すると、31万7,777円になります。その内容は、次のようになります。

道路舗装や改修のために	市民福祉のために	教育のために	ごみ処理や市民の健康を守るために	消防活動に	商工・農業の振興のために	議会運営・市民サービスなどに
2万1,291円	17万1,917円	3万1,460円	2万6,693円	1万804円	2,225円	5万3,387円
6.7%	54.1%	9.9%	8.4%	3.4%	0.7%	16.8%

※令和4年1月1日現在の人口143,585人を基に算出しています。また、円単位未満は四捨五入しています。

市民1人当たりが負担する税金

総額 **16万437円**

市民1人当たりが負担する市税は、市民税・固定資産税など合計16万437円で、市が皆さんのために使うお金との差額は、国や県からの補助金や、借入金(市債)などの財源で賄われます。

市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税
7万9,095円	6万5,619円	963円	5,455円	9,305円
49.3%	40.9%	0.6%	3.4%	5.8%

より詳しい財政状況は市ホームページに掲載しています。下記コードからご覧ください。



財政局 463-3179

〈特別会計〉

会計名	本年度	前年度	増減率 (%)
特別会計	208億3,977万2千円	197億9,095万5千円	5.3
国民健康保険特別会計	111億 641万7千円	106億6,768万6千円	4.1
介護保険特別会計	81億2,317万2千円	77億2,740万6千円	5.1
後期高齢者医療特別会計	16億1,018万3千円	13億9,586万3千円	15.4

令和4年度(2022年度) 朝霞市水道事業・下水道事業会計予算概要

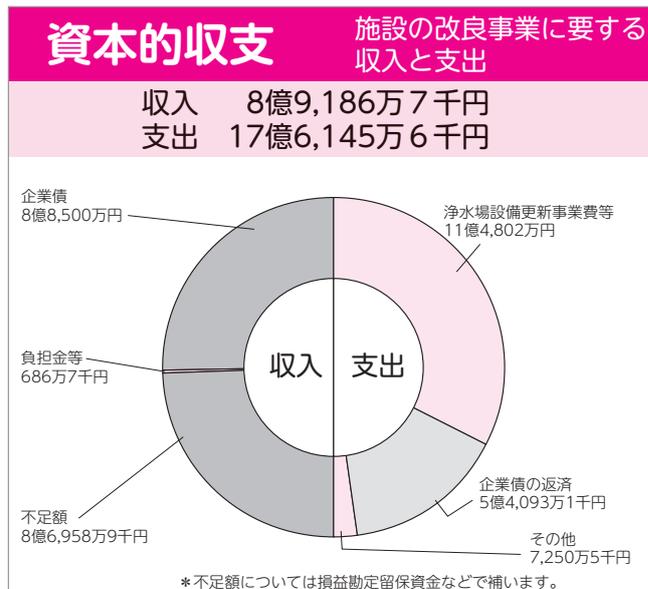
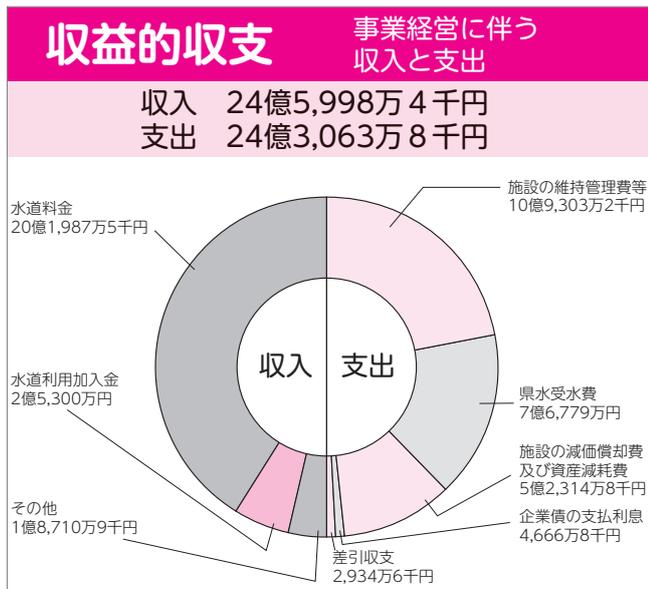
問 / 上下水道総務課 ☎462-3366

● 水道事業会計

水道事業は独立採算制で、事業費は利用者の皆さんからいただく水道料金によって賄われています。

本年度予算では、1 m³の水を皆さんにお届けする費用(給水原価・税抜) 134円12銭に対して、水道料金(供給単価・税抜)は125円で9円12銭の赤字となり、不足額を水道利用加入金などの収入で補うこととしています。

このほか、本年度も浄水場設備および老朽管の更新や、管路の耐震化など、多額の費用を要する事業を実施しなければならないため、企業債(8億8,500万円程度)を起こす予定です。



● 下水道事業会計

下水道事業は「雨水公費・汚水私費の原則」により、雨水処理費は税金(公費)で、汚水処理費は下水道使用料(私費)で賄われることとなっています。

本年度予算では、雨水処理に要する費用分として雨水処理負担金(2億4,723万9千円程度)を一般会計から繰り入れる予定です。

このほか、大字溝沼地内調整池築造事業など、多額の費用を要する事業を実施するため、企業債(6億2,570万円程度)等を活用し、財源とする予定です。

